



NETBEANS IDEの導入

オブジェクト指向プログラミング特論

只木進一:総合情報基盤センター

NETBEANS IDE

- IDE : Integrated Development Environment
 - 統合開発環境
 - Java, C, C++
 - Applet、Servlet、java application
 - Java Swingコンポーネントを使ってGUI設計
- その他
 - UML (Unified Modeling Language)
 - XML (eXtensible Markup Language)



導入

- JDKをインストール
- NetBeans7.2インストール
- Windowsの場合
 - インストール先
 - C:¥Program Files¥NetBeans 7.2
 - 設定ファイル
 - C:¥Program Files¥NetBeans 7.2¥etc¥netbeans.conf
 - どのjdkを使うかが記述されている



NETBEANSの利点

- 自動補完機能
 - メソッド名
- クラス名、メソッド名のヒントを表示
 - 説明、引数など
- 依存性の自動検知による構築
 - antの機能
- デバッグ機能
- プロジェクトのグループ化
 - テーマや大きな課題ごとに管理

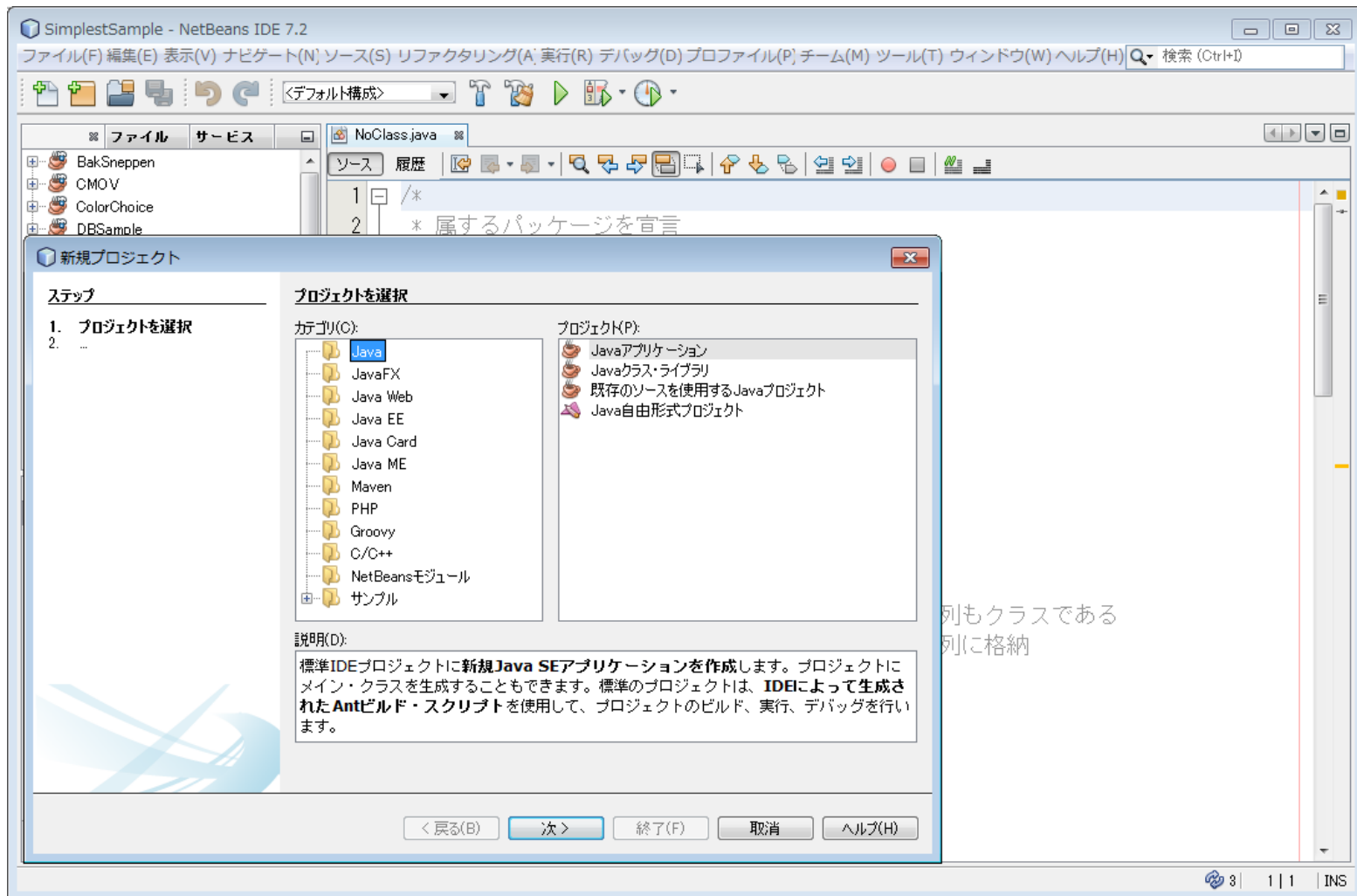


使い方

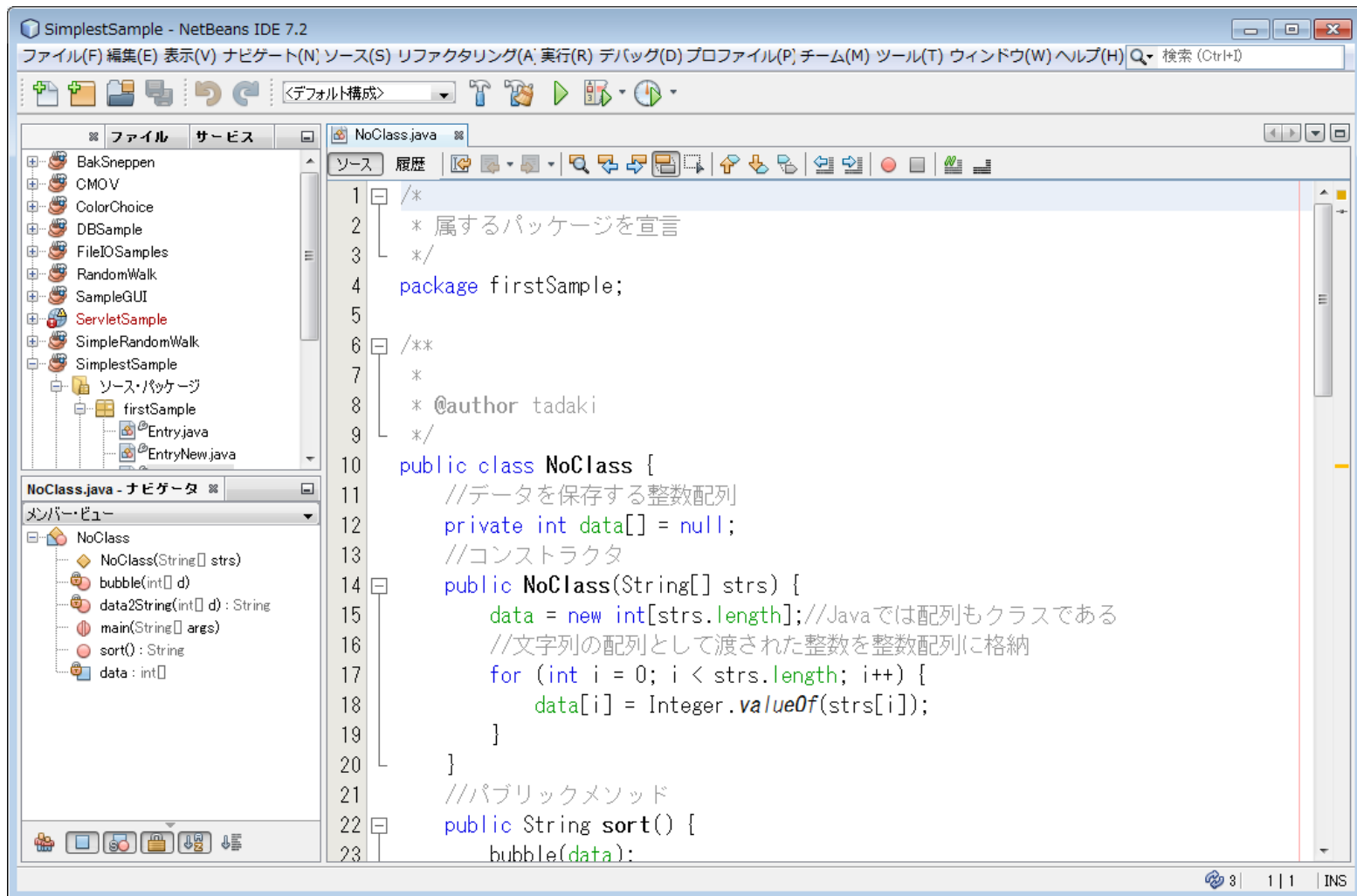
- プログラムはプロジェクト単位で管理する
- 「ファイル」→「新規プロジェクト」→「Javaアプリケーション」



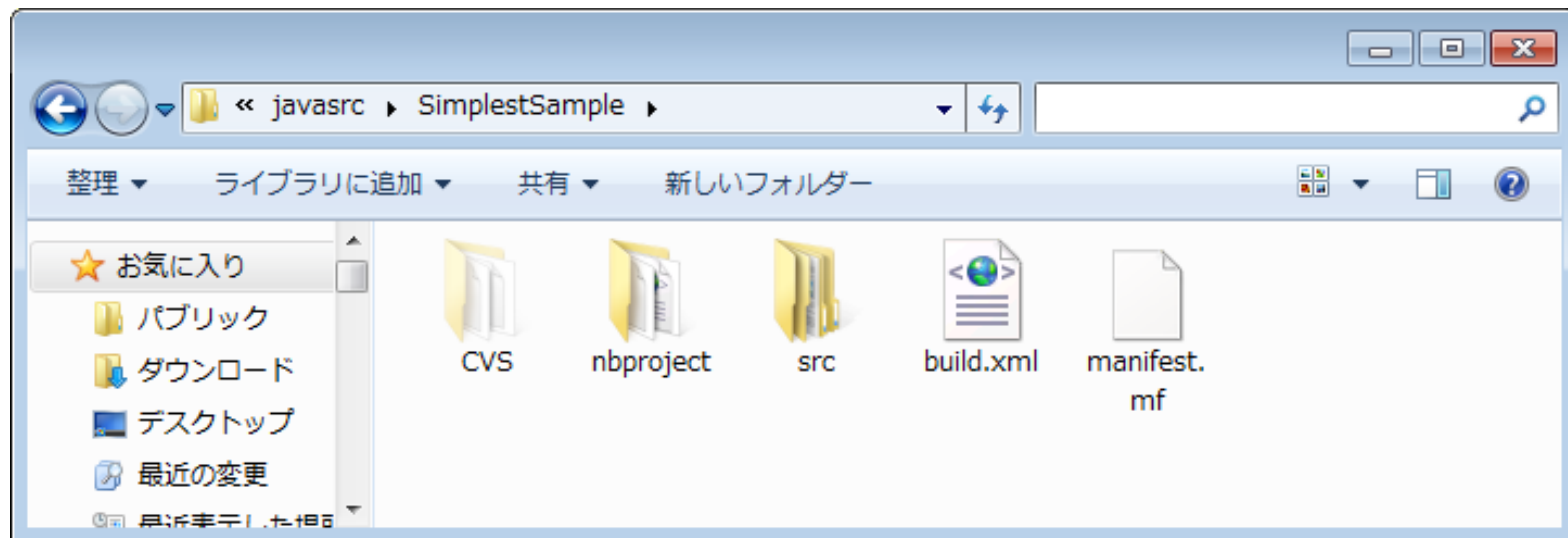
プロジェクトの生成画面



プログラム作成画面



プロジェクトのフォルダ



構築と実行

- プロジェクト→「構築」
- プロジェクト→「実行」
- Mainを含むクラスの指定をする
- プロジェクト→mainを含むクラスファイル→「実行」

